

かけはし

Vol. 206

峡南教育事務所 News Letter

第40回 ことぶき勧学院祭 開催!

テーマ『勧学院祭 一人ひとりが 輝いて』

十月二十日、ＹＣＣ県民文化ホールにて、県内六教室の一、二年生約二百六十人が一堂に会し、第四十回ことぶき勧学院祭が開催されました。各教室が趣向を凝らした発表を披露し、会場は終始熱気と歓声に包まれ、大いに盛り上がりました。

勧学院祭を華やかに彩った二年生

勧学院祭のオープニングを担当した二年生は、練習の成果とチームワークを存分に発揮して会場を盛り上げました。それぞれが役割を果たし、テーマ「勧学院祭 一人ひとりが輝いて」にふさわしい発表となりました。

◇太鼓
『かがり火太鼓』
『富士川太鼓』

◇フォークダンス
『コロブチカ』
『チリリ』



新メンバーを迎え、パワーアップした太鼓

太鼓は、昨年度からのメンバーに新たな仲間が加わり、さらにパワーアップしました。本番では、息の合った力強い太鼓の音が会場いっぱいに響き渡り、迫力ある演奏で勧学院祭のオープニングを華やかに、そして盛大に飾りました。仲間と心を一つにした演奏に、会場も大いに盛り上がりました。





新たな演目に挑戦 フォークダンス

フォークダンスでは、今年、新たな演目に挑戦しました。練習を重ね、本番では華やかな衣装に身を包み、息の合った踊りを披露しました。太鼓の力強さとはまた違った、優雅で華やかなステージとなりました。

これからの人生をどう生きるか 一年生

◇朗読劇
『生きる』

一年生は、朗読劇「生きる」を披露しました。「これからの人生をどう生きるか」をテーマに、これまでの人生を振り返りながら、これから大切にしていきたいことについて仲間と語り合いました。その語り合いから生まれた一人ひとりの思いや言葉をもとに、谷川俊太郎の詩「生きる」をモチーフとして朗読劇をつくり上げました。

人生経験を重ねた今だからこそ感じる「生きる」ことへの思いを、自分たちの言葉にのせて表現した舞台。これからの人生をどのように歩んでいくのかを改めて見つめ、仲間とともに考える機会となりました。観る人の心にも静かに響き、「生きること」について改めて考えるきっかけとなる素晴らしい発表でした。





今年度の勧学院祭のテーマは、峡南教室二年の学級長である佐野保仁さんの作品が採用されました。

発行:峡南教育事務所
（南巨摩合同庁舎2階）
南巨摩郡富士川町鰍沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPからもご覧になれます。QR→

目次：

ことぶき勧学院祭　1
峡南地域中学校 思春期体験学習　2
峡南地域中学校 思春期体験学習
中学生防犯・交通弁論大会　3
上棟フェス
ライフミュージアム
世代を超えた交流　4



山々を彩る紅葉がひときわ美しい季節となりました。移ろう景色に自然の豊かさと時の流れを感じます。地域の魅力を見つめ直すこの秋、皆様が穏やかで実り多い日々を過ごされますよう、心よりお祈り申し上げます。



峡南地域中学校 思春期体験学習



峡南地域では、平成十一年度より町の保健師や助産師の皆様を中心として、各中学校の三年生を対象に思春期体験学習を行っています。この学習では、「妊娠・出産」や「命の大切さ」、さらに「自分や他者を尊重した人間関係の在り方」について学ぶほか、妊婦体験や赤ちゃんの抱っこ体験にも取り組んでいます。

今年度は、七月に実施した富士川中学校を皮切りに、九月から十一月にかけて各中学校で開催されました。学習に参加した生徒たちは、多くの気づきや学びを得ました。生徒の感想の一部を紹介します。

☆三珠中学校





○（妊婦体験をして）起き上がることも大変で服とか着替えるのが大変だった。仰向けの時のお腹が圧迫されている感じがして大変だった。

○靴下をはくのが大変だと聞いたことがあるけれど、こんなに大変だと思わなかった。妊婦さんの大変さを改めて知ることができ、妊婦さんがどれだけ偉大か実感できた。

○とても小さくて本物の赤ちゃんは動いたりしてかわいいなと思いました。首が座ってないと気をつけたりしないといけなくて怖いなと思いました。

☆市川中学校



○実際に（妊婦）体験してみると、思っていたよりも体が自由にならないことがわかりました。しゃがんだり、仰向けで寝たり、階段を上り下りするのが特に大変でした。この体で赤ちゃんを守るお母さんは偉大だし、自分のお母さんにも感謝の気持が込み上げてきました。貴重な体験をさせていただけてよかったです。





○赤ちゃんの柔らかい体を抱っこして支えるのは大変でした。頭が重たいし特に首が座っていないとずっと気が抜けないと思いました。生命を預かることの責任も感じました。実際に妊婦さんのお腹も触らせていただいて、ここに生命があるんだと思って感動しました。

☆市川南中学校

○数分体験したが、妊婦さんは毎日、お腹の中にある命を大切にしながら、重さに耐えるのはすごいなと思った。

○毎日赤ちゃんの重さと羊水を抱えている状態で腰もやられるし寝返りも打てないしで大変なんだろうなと思いました。

○からだが重く、お腹の赤ちゃんも気にしながら多くの事をこなしているのだと感じた。

○（抱っこするのは）簡単そうに見えたが、腕の回し方や持ち方、おろし方などが複雑だった。



○体が温かかった。柔らかかった。





☆六郷中学校

○（妊婦体験を通して）普段何気なく行っていることがスムーズにできなくて大変だった。

○これ（お腹の大きい状態）が一年近く続くと思ってびっくりした。

○想像以上に体が重くて大変だった。

○母の大変さを知った。



○（赤ちゃんを抱っこするのは）首が座ってないのもあってすごい難しかった。

○どうやって頭を支えたらよいかどう腕で支えたらいいかわかった。

○妊婦さんの大変さをもう少し知ってみたいです。

○想像以上に子育ては大変だなと感じた。

☆富士川中学校





○ふれあい体験を通して、命のあたたかさを学ぶことができました。赤ちゃんを抱っこしてみると体がとても温かくて、何をしてもかわいいってなりました。自分もこうやって周りの人にあたたかく見守られて、大切に育てられたんだなと思いました。これから町で赤ちゃんや妊婦さんを見かけたら、優しく見守ったり、自分にできることはないか考えたいです。



○赤ちゃんを産む前も、生んだ後もたくさんの大変なことを感じて知ることができました。私は男なので、相手を支えられるようにしていきたいと思いました。

○赤ちゃんが新聞紙のおもちゃで楽しんでくれてうれしかったです。人形の時とは異なり、赤ちゃんを実際に抱っこするのは難しかったです。しっかり丁寧に育ててくれた母に感謝しました。



峡南地域中学校 思春期体験学習

☆早川中学校

○最初から最後まで心に残りました。
○どんなことにおいても相手やお互いを尊重することが大切だと感じました。
○「十三 歳の女の子が妊娠」という話を聞き、身近に感じられた。大人になるためにも、少しずつ知っておかなければならないと思った。
○こんなに小さな命から産まれてきたのだと思うとすごくびっくりです。
○日常生活でも赤ちゃんのことを気にかけることができたら良いなと思いました。
○しっかり本当の情報を頭に入れて、いい大人になりたい。





☆身延中学校

○妊娠疑似体験では、一つ一つの行動に注意を払って行動しなければいけないと思ったし、体が重い中、座ったり立ったりを繰り返すのは大変なことだなと感じた。赤ちゃん抱っこ体験では、赤ちゃんの要求を探って対応していくのが難しかったり、母親の睡眠時間が削られることが大変だと思ったりしたけど、それ以上に赤ちゃんに癒されて赤ちゃんのことを愛しているんだろうなと感じた。とても良い時間を過ごせて赤ちゃんにも触れることができてうれしかった。
○赤ん坊のか弱く未熟なのと対照的に赤ん坊の力強さ、命を感じた。子供と意思疎通ができないからこそ、そこに良さがあり、わからないからこそ頑張り愛情を深めていくのだろうと思った。





☆南部中学校

○妊婦体験をして、つま先も見えない、横になるのも一苦労、階段も足元が見えない中で生活をしているのがすごいと思いました。
○「今の私たちがあるのは、愛を注いでくれた家族たちのおかげ」という言葉が心に残りました。そのことを忘れないでおきたいです。
○中学三年生の今、自分は何者なのか改めて深く考えるきっかけになりました。私はこれから自分のことを大切にするのと同じように、周りの人のことも大切にしていきたいです。







防犯・交通安全への思いを発表
中学生防犯・交通弁論大会



八月二十八日に市川三郷町生涯学習センターにおいて「鰍沢警察署管内中学生防犯・交通弁論大会」が、九月三日に南部中学校において「南部警察署管内中学生交通・防犯弁論大会」がそれぞれ開催されました。

これらの大会は、中学生が非行問題や交通安全について自らの視点で考え、体験を通して学んだことや日頃の実践を発表することにより、防犯・交通安全の重要性を広く地域に伝え、少年の健全育成と交通事故防止を図ることを目的として実施されています。

当日は、各中学校の代表生徒が出場し、それぞれの思いや考えを堂々と発表しました。防犯の部では、近年社会問題となっている闇バイトやSNSの適切な利用、いじめ、虐待などをテーマに、自らの経験や考えを交えながら問題を提起し注意を呼びかけました。また、交通の部では、交通事故防止に加え、自転車運転中の「ながらスマホ」に対する罰則の新設など、改正された交通ルールを題材に、一人ひとりが交通安全を意識して行動することの大切さが訴えられました。

発表はいずれも、日常生活の中で感じた課題や自らの体験に基づく説得力のある内容で、生徒たちの真摯な主張は、会場を訪れた人々が防犯・交通安全について改めて考えるきっかけとなりました。

大会では審査が行われ、優秀な発表を行った生徒が表彰されました。各大会の優勝者は、それぞれの警察署管内の代表として県大会に出場し、堂々とした発表を行いました。

中学生の視点から発信された一つ一つの言葉を通して、防犯・交通安全への意識を高め、安全で安心な地域社会の実現について考える貴重な機会となりました。

優勝者

◎鰍沢警察署管内

防犯部門	交通部門
渡邉 優月さん（三珠中学校）	渡邉 凛さん（三珠中学校）

◎南部警察署管内

防犯の部	交通の部
渡邉 花菜さん（身延中学校）	四條 星夕さん（南部中学校）

笑顔あふれる「上棟フェス」

九月三十日、富士川中学校において、建設中の新校舎の「上棟フェス（上棟式）」が行われました。







生徒たちが中心となって企画したこのフェスでは、代表生徒や町長ら関係者がお菓子をまき、生徒たちは伝統的な上棟式を楽しみながら体験しました。

最後には、生徒代表が施工業者の皆さんへ感謝の言葉を伝えました。新校舎の完成への期待が一層高まり、心に残る行事となりました。

学校と地域を結ぶ「ライフミュージアム」

身延高校では十月、校内を会場に「ライフミュージアム」が開催されました。今年のテーマは「驚きと発見」。生徒が授業や探究活動、文化活動で取り組んだ学習成果や芸術作品のほか、教職員や地域の方々の作品も展示されました。また、連携する身延・南部両中学校の生徒作品や大野山保育園の園児の作品も展示され、子どもたちの学びや表現活動を共有する場となりました。峡南地域における学校間・地域間の交流を深める機会となりました。



「驚き発見の木」

世代を超えて地域の未来を考える

青洲高校＆ことぶき勧学院　交流会

八月十八日、青洲高校において、ことぶき勧学院二年生三十名と同校の音楽部・茶道部の生徒による交流会が開催されました。

第一部では、「まちづくり～少子高齢化～」をテーマに意見交換が行われました。参加者は八つのグループに分かれ、少子高齢化が進む地域社会の現状や課題について話し合いました。世代の異なる参加者が率直に意見を交わし、それぞれの経験や立場から地域の未来について考える機会となりました。

第二部では、青洲高校茶道部による呈茶が行われました。生徒たちは日頃の活動で培ったおもてなしの心を大切にしながら参加者をもてなしました。ことぶき勧学院生は抹茶や和菓子を味わいながら生徒との会話を楽しみ、和やかな交流が広がりました。

続く第三部では、青洲高校音楽部が定期演奏会で披露したミュージカル「オズの魔法使い」の楽曲を発表しました。美しいハーモニーに会場から大きな拍手が送られ、その後は童謡・唱歌など親しみのある曲を全員で歌い、世代を超えて音楽を楽しむひとときとなりました。





今回の交流会は、地域課題について考えを深めるとともに、文化活動を通して世代間の交流を促進する機会となりました。参加者は、互いの経験や考え方に触れながら、世代を超えて学び合うことの意義や、地域を支える人と人とのつながりの大切さを実感しました。

◎参加した高校生の声

少子高齢化について高齢の方と話してみて、ニュースよりずっとリアルに感じました。世代が違うと見えている景色も違うんだと気づかされました。「若い人の考えを聞きたい。」という言葉が印象に残りました。社会問題が自分たちの未来に直結していることを実感しました。話し合ってみて、もっと自分の世代の役割を考えたいと思いました。

編集後記

「かけはし」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。峡南教育事務所では、社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することを目的に、年6回、奇数月に、地域教育情報誌「かけはし」を発行しております。

峡南地域での交流行事、社会教育・生涯学習に関する取組や行事等をぜひ取材させてください。お気軽にご連絡ください。

企画・編集・発行

峡南教育事務所

［所在地］南巨摩郡富士川町鰍沢771－2
［電　話］0556-22-8154
［ FAX ］0556-22-8144　（担当：篠原）
［サイト］www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html